

2022年6月5日

報道関係各位

認定特定非営利活動法人 経営支援 NPO クラブ

おかげさまで創立 20 周年！ 皆さまへの感謝とともにさらなる発展を！ ～シニアが活躍する NPO クラブとは～



認定特定非営利活動法人 経営支援 NPO クラブ（事務局：東京都千代田区、理事長：助川英治、以下「NPO クラブ」）は、本年 10 月に創立 20 周年を迎えます。

第一線を退いた企業 OB・OG が豊富な知識・経験・人脈を活かし、“ボランティア精神”で中小企業・団体の経営支援を行う NPO クラブ。定年後の新たなシニアの生き方を模索し、三井物産の OB たちが中心となって 2002 年に立ち上げました。以来、「業界の全領域にわたって日本の中小企業のお役に立つ」ことを基本方針に掲げ、会員たちが全国各地を精力的に飛び回っています。

当初 20 人でスタートしたメンバーは現在（2022 年 4 月時点）、正会員が 232 人（特定支援会員 52 社、賛助会員 12 社）、出身企業数がほぼ全業種を網羅する約 190 社まで拡大しました。

会員の専門分野も機械、電機、化学品、食料といった生活産業から、環境・エネルギー、IT、金融、医療福祉、また人事・財務・経理・法律等の管理部門まで、あらゆる実務のスペシャリストが揃っています。



▲ NPO クラブ紹介記事（左：日経ビジネス＜2012年9月10日＞、右：日本経済新聞＜2003年2月6日＞）

NPO クラブの支援内容は、①経営相談（マーケティング、新商品開発、生産性向上等）、②販路開拓（商品に応じた営業戦略とマッチング。発注候補企業を訪問して紹介）、③展示会・フェア出展時の来場者招聘（会場に発注候補企業を招き、出展ブースで商品を紹介、商談へ）、④セミナー・講演会（実践的課題解決のセミナー・講演会等の開催）——などです。様々な経歴を持つ会員がチームを組み、複眼的に課題解決にあたるため、的確なサポートが受託先から高い評価を得て、着実に実績を積み重ねています。



企業支援以外にも、社会貢献への気概を有す会員の自由闊達な意思を尊重し、次世代若者育成支援を先の支援（①～④）とともに「活動の二本柱」に据え、積極的に推進しているのが NPO クラブの特徴です。具体的には「サイエンスアゴラ」（国立研究開発法人 科学技術振興機構主催）、「土曜学習応援団」（文部科学省推進）、大学・大学院向けのリレー講座・ワークショップ・インターンシップなどに取り組んでいます。

また、東日本大震災の発生を機に**自然大災害復興支援**にも注力しており、震災発生から3カ月後の2011年6月には「福幸（ふっこう）プロジェクト」を立ち上げ、主に福島を中心に活動を展開しています。現在「農林水産」「観光」「再生エネルギー」の各分野を視野に、「福島土湯温泉まちづくり」などの地域創生を支援しており、昨年6月からは福島第一原発の廃炉関連事業への参入を目指す企業8社の競争力の強化もサポート中です。

ほかにもNPOクラブでは中小企業等の支援力アップのため、新たな技術・制度について会員自らの発議で複数の**内部研究会**（エネルギー産業研究会、新素材研究会、デジタル・イノベーション支援チーム等）を設けているほか、外部講師を招く講演会「**NPOサロン**」も定期的に関開くなど、会員たちが意欲的に自己研鑽に励んでいます。



中小企業・団体の経営支援をお手伝いすることで、シニアの活用と生きがいの創出に寄与しつつ、会員自らが自身の活性化をはかっているNPOクラブ。おかげさまで本年10月、創立20周年の節目を迎えます。20年前のアメリカ同時多発テロ事件、リーマンショックとその余波による日本経済の低迷期に産声を上げ、10周年の時は東日本大震災、そして20周年の現在は新型コロナウイルスとの闘い、ロシア・ウクライナ情勢に端を発する地政学的リスクなど、この20年間でも様々な困難に直面してきました。その間も私たちは、全国の中小企業等の支援、学生や若者などの次世代育成支援活動に精力的に取り組んでまいりました。皆さまへの感謝とともにさらなる発展のために、下記の20周年記念事業を実施致します。

20周年記念事業 概要

日時と会場

- 日時 **2022年10月5日(水)** 15:30～17:45(特別記念講演会) / 18:00～20:00(懇親会・パーティー)
- 場所 大手町サンケイプラザ・ホール

特別記念講演会



第一部 「東日本大震災と原発事故からの温泉街復興再生への軌跡」(15:40～16:20 ※40分)

講師 **加藤 勝一氏** (元土湯温泉町地区まちづくり協議会会長、(株)元気アップつちゆ顧問)

<プロフィール> 1948年、福島市土湯温泉町に生まれる。福島商業高校卒業後、家業(石材業)に従事、後に旅館業を営むとともに観光協会会長などを歴任。1997年には社会福祉法人を設立し福祉介護事業を手掛ける。2011年3・11の大災害を契機に復興再生のまちづくりを決意、土湯温泉町復興再生協議会、地域まちづくり会社(株)元気アップつちゆを相次いで創設し復興再生事業に尽力、成果を挙げてきました。



第二部 「不安定化するグローバル情勢と日本の進路」(16:25～17:45 ※80分)

講師 **後藤 康浩氏** (元日本経済新聞論説委員、亜細亜大学教授)

<プロフィール> 日本経済新聞で中東、ロンドン、北京に駐在、編集委員、論説委員、アジア部長を歴任。テレビ東京などテレビ、ラジオなどでも活躍。2016年から亜細亜大学都市創造学部教授。著書に『強い工場』『勝つ工場』『アジア力』『資源・食糧・エネルギーが変える世界』『ネクスト・アジア』『アジア都市の成長戦略』など。

<解説> アジア経済や産業論、エネルギー問題などに造詣が深く、米中冷戦、ロシアのウクライナ侵攻などで不安定化、不透明化するグローバル情勢について、産業立地や資源などの観点で解説します。

<本件に関する問い合わせ先>

認定特定非営利活動法人 経営支援 NPO クラブ
 広報チーム 担当：井料、宇川 TEL:03-5577-6785
<https://www.ka-npo.com/>



寄付金募集中!

NPOクラブでは
「寄付金募集活動」
 を展開中です。
 ぜひ、皆さまのお力添えを
 お願い致します。